

川井敏久氏

平成26年松戸市長選挙立候補予定者への公開質問状

作成：松戸を良くする、市民の「ゆる〜い」ネットワーク

1 本質問状の作成にあたり、グループ内で意見を集約したところ、以下の市政に対する要望が挙げられました。これらの要望について、具体的な方策をご提示ください。

(1) 保育サービスを向上し、市民がよりよいサービスを選択できるしくみがほしい
②のご質問と一括してお答えさせていただきますが、二十四時間保育所の増設、さらに駅近・駅中保育園の増設を図ります。さらに新たな場所の発掘にも力を入れることを検討しています。

(2) 多様な働き方に対応可能な保育サービスを充実させてほしい

(3) すべての子供が平等に学べる環境がほしい

障害を持つお子さんの学びの環境の整備と磨き上げをおこなう中で、施設の増設や専任教師の拡充を推進いたします。また保護者に対するサービスを認知して頂くための広報・啓発の普及に努めます。

(4) 小中学生の登下校時の安全・防犯対策を充実させてほしい

防犯ネットワークの拡充、あるいは市民の積極的な防犯パトロールの参画や防犯カメラの設置個所の増設を推進します。また私が市長時代に考案した全国初となった青色回転灯の整備の拡充を検討します。

(5) 出生率を高めてほしい

安心安全な受入拒否の無い新病院建設をめざします。せっかく生まれてくる小さな命は未来の街を担うわけでありますから、お産対策にも力をいれます。30~40代が住み続け安心して子育てできる環境整備をいたします。

(6) 児童虐待を減らしてほしい

親学の推進をおこないます。虐待は子供の一生を台無しにする行為であることの認知・啓発活動や市民・行政とのネットワークを駆使し包括的に街ぐるみで虐待を撲滅します。

(7) 障害児のデイサービスを充実させてほしい

民間企業の誘致などを積極的に行い誘致を推進します。たとえば空き施設の貸出等や市内での人材の育成・確保をめざします。

(8) 障害者が働きやすい環境を整えてほしい

社会へ対応できる技術力の向上に磨きをかけたいと考えます。また、積極的に企業が受け入れられる態勢を取れる様に、市内企業訪問をおこない就業への研修等を推進します。

(9) 働き盛りの世代を増やしてほしい

医療環境・教育環境・道路交通環境等の様々な環境を連動させ循環的な魅力的な街づくりを形成していきます。30~40代の流入を増やすことが街の活力を底上げする事にもつながりますので、特に子育て世代においては、収入に拘わらず市民税の減額等の優遇を考えております。一件ばら撒きのように思えますが、実は約3000万円の家を購入すると地域波及効果は約1億3000万円程度が見込まれます。損して元をとる考えで子育て世代の獲得をめざします。また地域の活力につながる世代でもあることから、今回の川井敏久の政策の最重要施策でもあります。

(10) 市内企業の振興に力を入れてほしい

大手企業の荒稼ぎではなく、街の中小零細企業が多く参画できる入札システムを構築します。たとえば入札価格の最低制限の設計金額等の引き下げを検討します。また、グローバルな視点に基づきジェットロ等の情報提供を受ける事ができる勉強会などの開催をいたします。

(11) 団地の空き部屋を有効活用してほしい

松戸版学生入居プログラムを立ち上げ、家賃補助をおこないます。ただし学生には月数回に渡りボランティア活動や町会へ参加させます。また空き店舗を活用しコミュニティカフェ等の運営を行うことで地域住民との交流の場として活用するのも面白いと考えます。

(12) 図書館のあり方を検討し、さらなる充実をはかってほしい

中央図書館の老朽化が進んでいることから、併設型の図書館の増設や、施設の再発掘をおこない、図書館を増やします。また民間の活力を活かし、カフェ併設型の図書館などがあるとさらに拡充した空間の中でのインテリジェンスの学びにつながると考えます。

(13) 原子力に頼らないエネルギー施策を推進してほしい

本来、いち自治体の考えるべき課題ではないと考えておりますが、敢えてお答えするならば、原発に依存する事のない代替エネルギーが安く提供される時代になれば、積極的な推進を行います。現実的には今現在は難しいと考えますが、太陽光や風力・地熱・海流エネルギー等の実験的なものの推移をとらえて可能性のある代替エネルギーについては今後とも推移を見守りたいと考えます。

(14) 市外からも人を呼び込むため、観光資源を有効活用してほしい

オープンデータ等の活用を含めて、観光都市まつどの推進を図ります。観光資源の積極的な磨き上げや地場産業の育成にも力をいれます。またまつどの観光施設の積極的な開放もいたします。たとえば戸定邸等で写真撮影ができる環境などを整備いたします。

(15) 学校の跡地を有効活用してほしい

空き校舎の利活用をいたします。たとえばクリエイターやアーティストへの貸出しや起業人に対するミニシリコンバレー、あるいは従来のコミュニティ施設などとして考え活用を推進いたします。また国や県へ働きかけ都心の強みを活かした立地を考え有効に貸し出すことも視野の一つと考えます。

(16) リタイヤ世代や主婦が気軽に起業（就業）できる環境を整えてほしい

労働力人口が減ることを考えれば、子育てに一段落ついたママさんらには起業等の活躍をしてもらわなければなりません。外国人労働力を確保するべきとの声もありますが、根本的な解消にはならず、やはりセミリタイヤした世代の人材をいかし労働意欲のある方々を利活用し積極的に参画してもらわなければならないと考えます。そこで、企業セミナーの拡充、商工会議所・地銀などと提携し、相談の窓口を広げます。

(17) 高齢者のコミュニティづくりを推進してほしい

高齢者のコミュニティづくりの推進は、セルフネグレクト対策や孤独死問題と直結していることから、要望のある地域とどのようなコミュニティを望んでいるのかのご意見をうかがい、地域地域の特性にあったコミュニティづくりの形成に尽力したいと考えます。

(18) 市立病院のあり方の方向性を確定させてほしい

各陣営、病院問題は解決済みとしています。はたしてそうでしょうか？いったい幾らかかるのか、どのような病院ができるのか？その建設方法や工法は二転三転し未だわかりません。これのどこが解決済みと言えるのか疑問です。そんなことから隠されている情報を見つめて改めて千駄堀なのか、東松戸なのかを検討する予定ですが、敢えて言うならば、東松戸の病院建設であれば、いまでも千駄堀よりも早く安く建設する事ができます。その観点から、私は東松戸に病院を建設すべきと改めて宣言いたします。

(19) 低投票率（政治的無関心）を解消してほしい

選挙管理委員会もがんばっていると考えます。政治無関心に関しては発信力を高めると共に議会や政治家が不透明な政治や信頼を損ねない様に普段から心がけ地域の代表として活動することが低投票率の解消になると考えます。

(20) 市職員の人件費を見直しつつ、モチベーションアップをはかってほしい

モチベーションの低下は一重に首長の責任であります。市長がぶれれば連鎖して職員のやる気の低下につながります。本市においても私の時代にはなかった様な質の不祥事が多くなったと感じます。職員のコンプライアンスやモラルの低下が無いように、幹部職員教育の拡充や勉強会を増やし問題を解決します。また、人件費を削減する前に無駄の削減に努めるべきと考えます。

(21) 市の歳入を増やす取り組みを進めてほしい

これまでの質問にもありましたが、ひとつの環境を磨き上げればいいということではありません。すべての多種多様な環境を連動し循環することによって初めて歳入の増収が見込めます。そしてやはり30代40代の流入が市の発展と財政の支えになると考えます。またそれに準じた労働力の確保や雇用の創出が地方自治体の命題であるように本市においても例外ではないと考えます。

2 市長選挙の立候補を検討するにあたっての「思い」について、下記のとおり伺います。

(1) なぜ立候補を検討しているのですか。端的にお答えください。

今の市政のありかた、行政のモラルの欠落、隠ぺいされた議会等と今の松戸市はかつての松戸市ではなくなりました。そこでもういちど立候補を予定し、市政を刷新するべきと考えました。

(2) 立候補にあたり、新規政策の提案をされると思いますが、逆に「廃止・縮減」を検討している事業はありますか。

市立病院の建設には600床にこだわらずコンパクトな病院として特化した医療施設になるよう検討いたします。

まずは現市長のバラまきの精査をすることが肝心ではないかと思えます。

(3) 近隣市との関係について、合併を含む今後の方向性について、いかがお考えでしょうか。

広域合併のことと思えますが、自分たちの街は自分たちで守り、自分たちで税収を上げなければならない時代になりました。こうしたことから政令指定都市構想を検討し、他市との連携をもう一度構築しなければならないと考えます。

(4) 市議会議員の定数および待遇について、いかがお考えでしょうか。

現在の市議会議員の定数は、44名であります。地方自治法に基づけば、一万人に一人の割合であります。しかし、幼児や少年には投票権はありません。その観点からいえば、有権者数の割合で考えるべきだと思います。よって39議席に縮減したいと考えます。

(5) 任期中に必ず解決（実現）したい重要な課題（政策）を3つ、ご記入ください。

①市立病院の早期建設

②子育て世代(30代40代)の確保

③議会改革

(6) 市長になってからの4年間、松戸市に最も必要とされると思うことはなんですか。その実現のための方策と含めてご提示ください。

次世代のまちを守っていく30代40代の確保の推進。

24時間保育の増設・駅近、駅中保育の整備。労働力の確保、起業へのサポート、さまざまな環境の磨き上げを包括的に行い住んでいただくべき考えます。

(7) あなたが市長になったときに市民が享受できるメリットをご記入ください。

政治の土台がしっかりと構築されます。

【質問は以上です。ご協力ありがとうございました。】